

SlackBot プログラムの報告書

2019/4/26

松尾 和樹

1 はじめに

本資料は、2019 年度 B4 新人研修課題の SlackBot プログラム作成の報告書である。新人研修課題として SlackBot プログラムを作成した。Slack[1] とは、チャットツールの一種である。SlackBot とは、Slack のチャンネルに投稿を行ったり、設定された契機となる単語によってユーザへの返信を自動で行ったりするものである。本資料では、課題内容、理解できなかった部分、作成できなかった機能、および自主的に作成した機能について述べる。

2 課題内容

課題は以下の 2 つを行う。

(1) 任意の文字列を投稿するプログラムの作成

ユーザから“(任意の文字列)と言って”という文字列を受信した際に、“(任意の文字列)”を返信するプログラムを作成する。

(2) SlackBot プログラムへの機能追加

SlackBot プログラムへ機能を追加する。Slack 以外の Web サービスの API や Webhook を利用した機能を追加する。たとえば、検討打合せの 3 日前ならば予定を投稿する機能である。本プログラムのコード量は、335 行であった。

3 理解できなかった部分

理解できなかった部分を以下に示す。

(1) nokogiri を使用した際に発生したエラー

nokogiri を使用した際に、gem の依存関係によるエラーが発生した。nokogiri のバージョンを 1.10.2 から 1.6 にするとエラーは発生しなかった。nokogiri の適切なバージョンはわからなかった。

4 作成できなかった機能

作成できなかった機能を以下に示す。

- (1) Slack の Outgoing Webhook 以外からの POST リクエストをブロックする機能
- (2) しりとりにおいて、ユーザが投稿した単語の品詞を判定する機能
- (3) 一度使用した単語を再度使用できないようにする機能

5 自主的に作成した機能

自主的に作成した機能を以下に示す.

- (1) コマンドにより, しりとりを開始または終了させる機能
 - (2) コマンドにより, しりとり中に現在の状態を表示する機能
- しりとりの状態とは, しりとりの途中か否かの情報と SlackBot が直前に投稿した単語の最後の文字である.

参考文献

- [1] Slack: Where work happens, Slack (online), available from <https://slack.com/intl/ja-jp/> (accessed 2019-04-25).